



はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

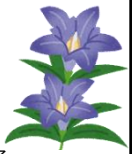
令和5年8月30日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

H P : shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



「対話」を大切に



夏休みが終わり、静かだった校舎に子どもたちの元気な声が帰ってきました。「おはようございます。」の挨拶とともにそれぞれの笑顔に出会えたことが何よりうれしいです。この夏は38度を超えるような酷暑が続き、雨が降らない日も何日も続きましたが、8月14～15日にかけて台風7号が直撃し、大雨、高潮、暴風に見舞われました。被害にあわれた皆様にお見舞い申し上げます。また、このように大変な状況の中、子どもたちの健康管理にご留意いただき、見守っていただいた保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

今年の夏は、世界中の異常な暑さのニュースが報じられていましたが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って4年ぶりに声を出しての応援やイベントも解禁になり、さまざまなスポーツで熱い戦いが見られました。甲子園では、大きな声での応援を受けて接戦が数多く見られました。



女子サッカーのワールドカップでは、なでしこジャパンが会場だけでなく、日本からの大きな声援を受けて活躍する姿が見られました。残念ながらベスト4には残れませんでしたでしたが、そのすがすがしい、あきらめず粘り強い姿に多くの人が感動したことでしょう。ランキング上位の、大きな選手のたくさんいるチームに対しても、堂々と自分たちのプレーを展開していました。ニュースを見ていると、そのチームの姿を「チーム内の誰とでもよく話している」「コミュニケーションが取れている」と評する人がありました。チーム内でよく話をすることでお互いへの信頼感が増し、あのような緊張感のある場でもそれぞれが力を発揮し、注目を集める存在になったのでしょうか。コミュニケーションの力は社会でも大きく求められている力の一つで、本校でも授業の中での「対話」を大事にしようとして取り組んでいます。対話をすることでお互いの考えを理解し、よりよいものを作り出すことができます。また、そうやって作り出したものを発信する場を設けていきたいとも考えています。

がんばっていることやできたことを話すだけではなく、困っていることや不安に思うことが話せる環境づくりも大切です。話しやすい教室づくりをしていきます。また、保健室は体だけではなく心の保健室でもあることを伝えていきます。特に新学期は、張り切る児童がいる一方で、リズムが戻りにくい児童もいます。ぜひ、おうちでも話を聞いていただき、学校と連絡を取りながら、元気に登校できるよう背中を押していただければ幸いです。子どもたちが様々な場面で対話をし、コミュニケーションの力を伸ばしていけるよう、2学期も保護者や地域の皆様とともに成長を支えていきたいと思ひます。ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

校長 小森 昌子

第1回学校運営協議会を行いました。(7/25)

協議会では、学校経営方針の理解と承認、子どもの様子(いじめアンケートの結果を含む)について説明した後、意見交流を行いました。今年度もよりよい学校運営に向け、学校、保護者、地域がさらに連携を取っていきたくと考えます。よろしくお願いします。

お世話になります。

令和5年度学校運営協議会委員

会長 山崎 憲夫 様

副会長 倉内 勝美 様

委員 臼井 守 様 亀井 勲 様

木本 幸男 様 山下 晃代 様